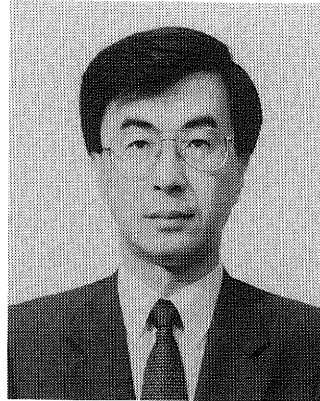


Form Tech Review 創刊によせて

通商産業省機械情報産業局鑄鍛造品課課長
荻布 真十郎



財団法人 天田金属加工技術振興財団は、昭和62年5月28日に設立されてから今日まで金属加工技術に関する研究助成資金の交付を行われてきましたが、これはプレス機械等金属加工機械の技術の向上に大きく寄与するものであり、その活動に心から敬意を表するものです。今回、これまでの研究助成テーマの成果を集めた研究発表会「Form Tech'91」を開催されるまでに発展されたことを伺い、心からお慶び申し上げます。更に、この発表会の開催を機に、機関誌「Form Tech Review」が創刊されるということで、助成等で行われた成果の普及の円滑化につながるものと大いに期待しております。

戦後、我が国経済は大きく発展してきましたが、その背景には国際的に競争力のある製造業の存在をあげることができず。優れた技術に裏打ちされた製品の品質や性能等は、国際的に非常に大きな評価を受けているところです。その中でも、金属プレス製品製造業や鍛工品製造業等の塑性加工を行う金属加工産業は、自動車、電気機器、各種機械産業に対し、高品質の部品を供給し、これらの我が国の基幹産業を支える非常に重要な役割を果たしてきております。

最も身近な日常生活の中にも家電製品や事務機器等多種多様な製品があふれていますが、これらの多くは見てもわかるように金属を成形加工した部品で構成されており、金属加工技術の進歩がこれらの多様な製品を安価に供給することを可能にしたと言えます。現在では、金属加工機械の利用範囲も広がり、複雑形状製品への利用等に加え、更に、ファインセラミックスや新素材への利用も考えられ、今後ますます用途の拡大が期待されているところであります。